

# 平成28年度 関東安陵会総会に寄せて

鹿児島県立大島高校学校校長 池田 浩一

今年も大志を胸にきらきらした瞳の277名の新入生を迎えた大島高校は、115年目の平成28年度をスタートいたしました。日頃より様々な形でご支援いただき、御礼申し上げます。前年度は、部活動・進学等はもちろん、皇太子ご夫妻ご臨席の国民文化祭開会式で本校生が演技を披露したり、奄美市制十周年記念式典に花を添えたりした年でもありました。

さて、今年の生徒会メインテーマは「咲<sup>えみ</sup>」

サブテーマは「心奥に根ざす思い 陽光を受け開くは万象の花」です。これは、各人の心の中にある揺るぎない思いを、高校生活の様々な経験を通して成長させ、一人一人の多様な個性を开花させようという生徒たちの思いが込められたものです。校訓の「和親・協同・自治・奉仕」の精神で、社会的存在としての在り方を考えるとともに、広範囲から、様々な層の生徒が集まってくる大高で、互いの個性を切磋琢磨させる良き成長の場とする、そういった活動を、生徒自身が更に進めてくれればと期待しております。

現在798名の大高生、63人の職員一丸となって、勉学・部活動・学校行事等に取り組んでいくところですが、前年度当初と比べて、53人生徒数が増加しております。少子化の進行の中で、高校入試において久々に1倍を超える結果になり、学級数も全学年7学級となりました。様々な実績や、生徒の生き活きとした活動からの結果と考えますが、引き続き、魅力ある学校づくりに努めて参りたいと考えております。

今年度も「攻める『伝統』」というスローガンを掲げ、伝統の強みを活かしつつ、それぞれが主体的に積極的に新たな伝統づくりに取り組むべく努めております。今年も卒業生が東京大学、早稲田大学等への進学実績を上げましたが、更にそれぞれが志を高く立て、有為な人材に育っていくよう指導して参りたいと考えております。自己をしっかりと見つめ、厳しく対峙し、同時に他者のために汗を流せる、社会に貢献できる、そういった人材を育てていきたいと考えております。

今後とも、安陵会の皆様には、本校教育活動への絶大なるご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、関東安陵会がますます発展されますことを祈念いたしまして、あいさつとさせていただきます。